

検討の進め方

1. 検討事項及び作業の進め方

(1) 消毒副生成物及びその前駆物質に関する知見及び規制内容等について

浄水操作における消毒によって副生成する物質（ホルムアルデヒドを含む。以下「消毒副生成物」という。）及びその前駆物質について、生成メカニズム等の科学的知見について整理する。また、それらの物質に係る規制内容について環境規制を中心に整理する。

(2) 水道事業者等による水質事故発生時の連絡体制について

水道分野における既存の通知、ガイドライン、マニュアル類を整理し、利根川水系を水源とする水道事業者を対象として、今般のホルムアルデヒドによる水質事故時における監視体制、水質検査方法、事故時の連絡体制について、上記マニュアル類等と照らし検証を行う。また、他の主な水系の水道事業者について、類似の水質事故時に備えた取り組みに関する情報を収集・整理する。

(3) 水道施設における消毒副生成物の低減方策の検討について

消毒副生成物の生成メカニズムを踏まえ、消毒副生成物の発生抑制方策や、生成した消毒副生成物の除去方策等の低減方策について、技術的情報を収集・整理する。また、水道施設における現状の対策や今後の普及の可能性等について検討する。

(4) 水道原水中の消毒副生成物前駆物質の監視方法について

消毒副生成物の前駆物質の水道原水への流入を完全に防止することは困難であることから、万一当該物質が環境水中に排出された場合に備えた、水道施設への影響を最小化するためのモニタリング手法について検討する。

なお、消毒副生成物による類似の水質事故が突発的に発生した場合の監視方法のあり方について、今年度中を目途に検討を行う予定。

(5) 水道水源における水質事故のリスクに応じた施設整備及び管理のあり方等について

水道水源における水質事故のリスク、水道事業者等における水質事故時の連携体制、水道施設における対策の現状等を踏まえ、今後の望ましい施設整備や管理のあり方等についてとりまとめる。

2. 検討会開催予定

本年度内に3回程度開催し、とりまとめを行う予定。

第1回（平成24年7月20日開催）

- ・検討会の設置について
- ・利根川水系におけるホルムアルデヒドによる水道への影響について
- ・消毒副生成物及びその前駆物質に係る知見及び規制内容等について
- ・論点及び今後のスケジュール

第2回（平成24年秋頃開催予定）

- ・水質事故発生時の水道の対応のあり方の検討
- ・水道施設における消毒副生成物の低減方策の検証について
- ・水道原水中の消毒副生成物前駆物質の監視方法について

第3回（平成24年末頃開催予定）

- ・水道水源における水質事故のリスクに応じた施設整備及び管理のあり方の検討
- ・検討会とりまとめ